

1 小中合同研究主題

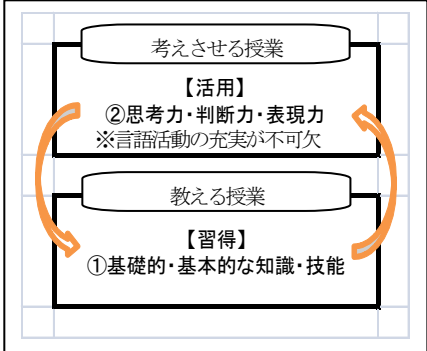
基礎的・基本的な知識・技能の活用を図る学習活動の工夫（3年次）
～言語活動の充実を図るカリキュラムデザイン～

2 主題設定の理由

教育目標・重点目標
<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標「自ら進んで学習する子ども」 ・重点目標「基礎・基本が定着している」
生徒の実態
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能が定着をより定着させる必要がある。 ・物事を深く考える力を伸ばす必要がある。
新学習指導要領
<ul style="list-style-type: none"> ・各教科において基礎的・基本的な知識・技能の習得を重視すること。 ・観察・実験やレポートの作成、論述などの知識・技能の活用を図る学習活動を充実すること。 ・教科等の枠を超えた横断的・総合的な課題について各教科等で習得した知識・技能を相互に関連付けながら解決するといった探究活動の質的な充実を図ること。 ・これらの基盤となる言語に関する能力を国語科のみならず、各教科等において育成すること。

以上より、教師は児童生徒に対して

<ul style="list-style-type: none"> ① 基礎的・基本的な知識・技能の定着 ② 思考力・判断力・表現力の育成 	<p>この2つが必要である。</p>
--	--------------------



「基礎的・基本的な知識・技能」の定着のために	基礎的・基本的な知識・技能の定着状況を分析し、分析に基づく手立てを考え、実践する。
「思考力・判断力・表現力」の育成のために	基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動を充実させる。
思考・判断の過程や成果を表現するために	「言語活動」を充実させる

これらを、単発的に行うのではなく、単元・あるいは複数単元レベルで計画を立てることが有効であると考える。

3 平成22年度の校内研修を振り返って

(1) 取組内容

研究テーマ「知識・技能の活用を図る学習活動の工夫～授業の中でどのように言語活動を仕組むか～」のもとで教師一人一人の指導力を高めるため、次の研修を進めてきた。

ア 授業改善計画の作成と実践

各教科で、子どもの実態と願う姿を明確にした。その上で、願う姿に迫るための仮説を立て授業改善計画を作成し、その計画に基づいて年間を通した授業改善に努めた。

イ 全職員による研究授業の実施

授業改善の中間評価として、各自が年1回研究授業を行った。そして授業で見られた児童・生徒の姿から、これまでの授業改善の方策の有効性やこれから改善すべき点などについて全体で研修会を行った。

(2) 研究の成果と課題

ア 成果

- ・基礎的・基本的な知識・技能とは何かを考えることができた。
- ・言語活動を行う目的について考えることができた。

イ 課題

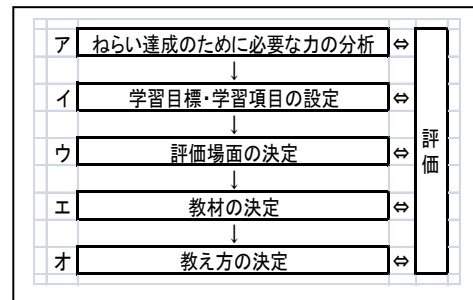
- ・言語活動を行わせるには、児童生徒にどのような内容をどの程度まで教えておく必要があるのか、授業過程を明確にすることが課題である。

4 平成23年度の主な研修内容

- (1) 授業研究計画に基づく授業実践
 - ア 児童生徒の実態把握とニーズに基づく指導計画と実践
 - イ 自己評価カード、各種テストなどによる学習状況、授業研究計画の取組の評価と改善
 - ウ 授業研究計画の達成状況について情報交換（レポート交換年2回）
- (2) 小中合同研修による研究授業公開
 - ア 一人一回の公開授業

5 研究の方法

- (1) 授業研究計画作成・・・授業を実施する単元決定後以下のステップで
 - ア 単元のねらいを達成するためには、児童生徒にどのような力が必要なのかを考える
 - イ 単元の中で教えるべき基礎的・基本的な知識技能の洗い出し・決定
単元の中で身につけたい思考力・判断力・表現力の洗い出し・決定
 - ウ イを身に付けたかどうかを評価する場面の決定（※1）
 - エ イを身に付けたための単元計画の作成
 - オ イを身につけるための1時間1時間の授業計画の作成
 - ① どんな言語活動（※2）を行わせるか（ア～オの下に）
 - ② そのためには、毎時間何をどこまで、どのように教えるか・生徒をどこまで高めるか



※1 評価 基礎的・基本的な知識・技能 →web 配信問題、全国学力学習状況調査A問題などを参考に
 思考力・判断力・表現力 →PISA 調査、全国学力学習状況調査B問題などを参考に

※2 言語活動の例（思考・判断したものを表現する活動）

体験から感じ取ったことを表現する（記録）
事実を正確に理解し伝達する（要約）
概念、法則、意図など解釈し、説明したり活用したりする（説明）
情報を分析・評価し、論述する（論述）
課題について構想を立てて実践し、評価・改善する（討論）
互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる（発表）

(2) 研究レポートの作成と情報交換

上記の計画を1学期に1回、2学期に1回立て、それぞれ学期末にレポートを作成し振り返る。

- ・1学期レポート交換…8月25日
- ・2学期レポート交換…1月13日

6 校内研修年間計画

月	日	曜	内容
4	8	金	第1回小中合同研修会（研修に対する共通理解、研修計画作成の説明）
5	12	木	第2回小中合同研修会（各自の授業研究計画を紹介）
6	2	木	授業公開①
6	21	火	第3回小中合同研修会 ※学校訪問予定① 授業公開②
7	14	木	授業公開③
8	25	木	第4回小中合同研修会（1学期の実践レポート紹介）
9	20	火	授業公開④
9	29	木	授業公開⑤
10	13	木	第5回小中合同研修会 ※学校訪問予定② 授業公開⑥
11	10	木	授業公開⑦
12	8	木	授業公開⑧
1	13	木	第6回小中合同研修会（2学期の実践レポート紹介）と来年度に向けて